



岡山大学大学院 社会文化科学研究科

Graduate School of Humanities and Social Sciences
Okayama University

ガイドブック

博士前期課程

- 社会文化基礎学専攻
- 比較社会文化学専攻
- 公共政策科学専攻
- 組織経営専攻

博士後期課程

- 社会文化学専攻

2015

Admission Policy

～ 入学者受け入れの方針 ～

博士前期課程においては、最先端の研究に裏づけられた教育を施すほか、多様な分野に関わる複合的・学際的な研究を通して、広く文学・法学・経済学の各分野に通じた高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた研究者や専門人の育成をめざすとともに、深い教養と国際的な感覚を身につけ、また物事を多角的に観察・洞察し、柔軟に社会の変化に対応できる能力の向上を図っています。

博士後期課程においては、「共生社会の構築」の理念に基づく、多様で学際的なアプローチからの研究を志向しています。

専門分野に関する基礎学力と柔軟な思考力、豊かな

知性と感性を備え未知に挑戦する強い目的意識と探求心を持って、学術研究に意欲的に取り組む気概のある人を、国内外から広く受け入れています。

博士前期課程の組織経営専攻および地域公共政策コースにおいては、企業や官公庁・自治体等の個別具体的な組織の運営・経営のためのより適切な能力を身につけようとする人を受け入れています。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程では、文学部・法学部・経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮したカリキュラムを編成し、今日における新たな教育に対する要請に応えるべく、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供できる体制が整備されています。組織経営専攻および地域公共政策コースにおいては、地元の企業や官公庁・自治体の現場の経験に触れることができるよう配慮されています。

博士後期課程では、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織、個人、地域社会等を対象にした、多様な、そして学際的なアプローチからの研究を支援する大学院教育プログラムを提供しています。

入試日程

博士前期課程では、9月と2月に学生募集を実施しており、入試区分は、一般入試、留学生特別入試、社会人特別入試、職業人特別入試があります。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、過去の入試問題、入学試験情報等を掲載しています。

博士後期課程では、2月に学生募集（進学者を含む。）を実施しています。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、入学試験情報等を掲載しています。

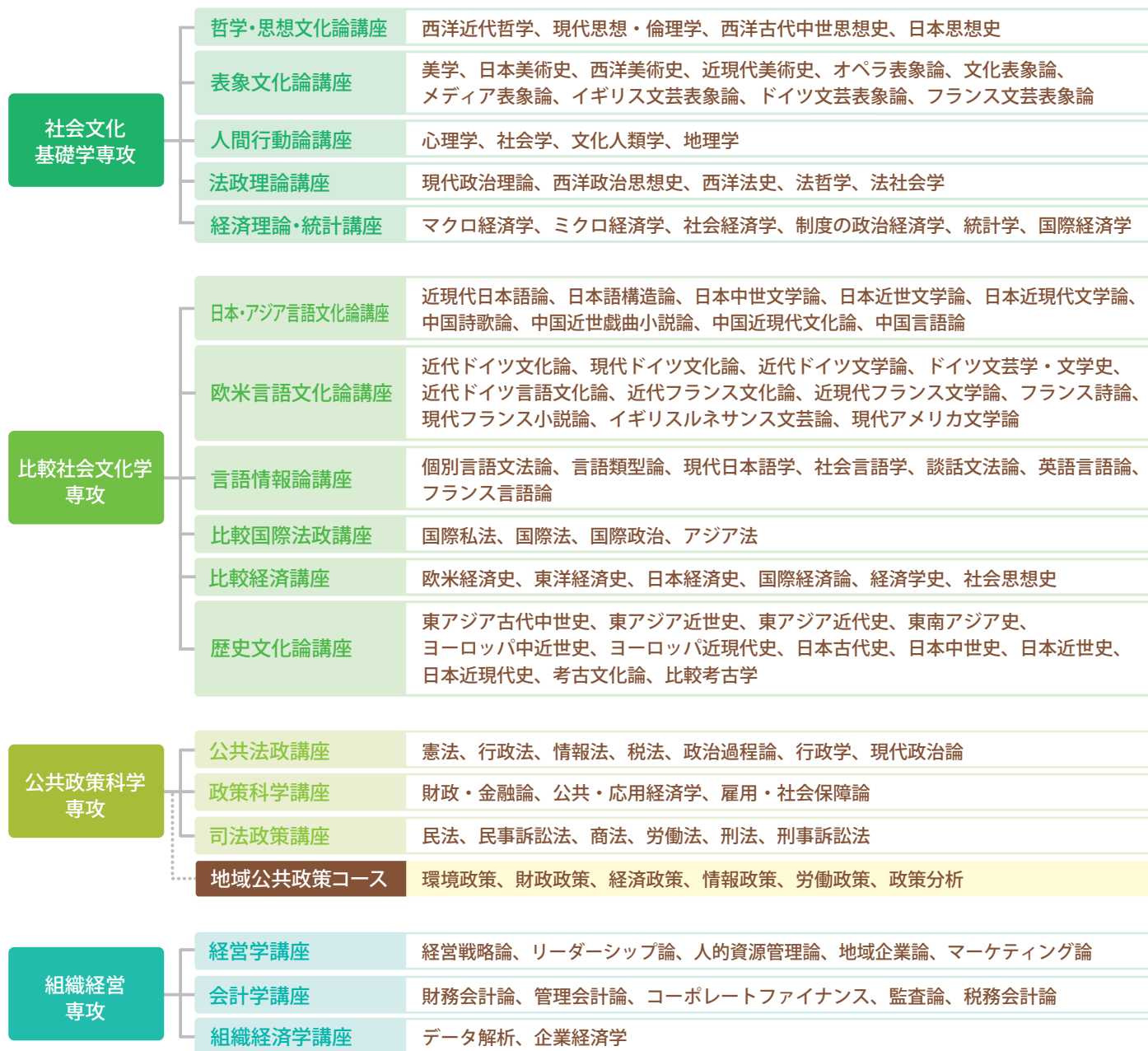
（URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/> “入試情報”をクリックしてください。）

本学と協定を締結している海外の大学を卒業（見込みを含む。）した留学生を対象に、外国人留学生海外特別入試を博士前期課程及び博士後期課程で実施しています。



博士前期課程

当研究科には、社会文化基礎学専攻、比較社会文化学専攻、公共政策科学専攻、組織経営専攻の4専攻があります。これらの専攻は、文学部、法学部、および経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮しています。また、今日における新たな教育に対する要請を受け、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供することができる体制となっています。



博士後期課程

当研究科の博士後期課程には、社会文化学専攻があります。この専攻には、文化共生学講座(人間文化・社会文化論)、人間社会科学講座(日本文化・比較社会発展論)、政策科学講座(公共政策・現代企業論)の3つの講座があります。ここでは、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織・個人、(地域)社会等を対象に、多様な、そして学際的なアプローチから研究を志向しています。

社会文化学専攻



Contents

～ 特色ある教育内容等 ～

▶ 地域公共政策コース

地方が自立し地域の実情にあった政策を展開しなければならない時代にあって、コースでは、三大都市圏以外の地域の縮図としての中四国地域を対象とし、この地域の政策を企画・立案・評価できる優れた公共政策人の育成を目指します。特に、岡山県及び近県の地方自治体職員を対象に政策人としての再教育とそのスキルアップを図ります。あわせて政策能力を有した公務員を目指す学生諸君も歓迎します。

本コースの学生は、岡山大学と地域の自治体、経済界、NPOの方々がまちづくり、地域医療など地域の問題について研究・議論する「地域創生ネットワーク・アゴラ」にも参加しています。



倉敷中央病院と倉敷のまちづくりの協働の可能性

▶ 組織経営専攻（ビジネススクール）

本専攻では、現代組織（企業、公的な諸団体、各種機関等）の経営行動に関わる諸問題を経営学、会計学、および組織経済学という多様なアプローチによって、諸課題を理論的に把握できる能力と、これらの組織が抱える問題についてリーダーシップをもって実務的に解決していく能力を養成します。特に戦略計画、人事、市場調査、財務、会計などを含む組織の経営管理上の課題に積極的に取り組み、解決を図ることのできる、企業人の育成を目指します。さらに公認会計士あるいは税理士といった専門的な職業人を目指す人のための講義科目も開設しています。また、修了後には、欧米のMBA（経営学修士）に相当する学位「修士（経営学）」を修得することができます。

◆ その他の教育内容（講座）につきましては、ホームページで紹介しております。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/index.html>



「アカウンティング基礎」の実践的な講義

研究 Topics

～ 特色ある研究内容等 ～

▶ 池田家文庫(文)

岡山大学附属図書館では、初代岡山藩主池田光政が寛永9年(1632)に鳥取から岡山城に入城して以来、明治4年(1871)の廃藩置県に至るまでの約240年間の岡山藩のさまざまな藩政資料及び池田侯爵家収蔵の図書類からなる池田家文庫を所蔵しています。領国支配を行っていた藩の藩政資料が一括して残るのは全国でも数えるほどですが、岡山大学ではこうした貴重な学術情報資源を学部・大学院での教育と研究に積極的に活用しています。このほかに美術地域の旧勝山藩の三浦家文書やさまざまな村方文書なども充実しており、地域資料の調査も継続して行われています。原文書と現地に即した生きた地域史研究に取り組んでみませんか。



岡山大学附属図書館所蔵

▶ 地理学(文)

今日、グローバル化が進行するなか、ローカルな地誌学的（地域）研究の重要性が増しつつあります。グローバル化によって生じる地域の現象や課題は、地域間の比較を通して明確なものとなるからです。そのため、世界の諸地域だけでなく日常的な近隣の地域においても多次元からの地域分析が求められます。これまで、人間行動論講座の地理学領域では、近隣の諸都市や産業地域、中山間地域などを事例地域とし、その社会や経済、文化などの地理的事象を解明した研究が多く蓄積されてきましたが、カナダ、アメリカ合衆国、中国の都市やインド、オーストラリアの産業地域などを対象とした研究もあり、多様な地理的事象かつ多様な対象地域において地域研究を行うことが推奨されてきました。この自由度の高い研究環境のもと、近年では、大学教員も輩出しています。地域の動態に関心がある方のみならず、研究者を目指そうとしている方にも最適の研究環境が保証されています。



調査地・ヴァンクーヴァーの都市景観

留学制度

●岡山大学短期留学プログラム

8カ国26大学と授業料等を不徴収とする大学間交流協定を締結しており、これらの協定大学へ日本人学生を派遣しています。

●部局間国際交流協定に基づく交換留学プログラム

社会文化科学研究科と海外の大学と国際交流協定を締結し、学生の留学（派遣・受入）を行っています。
海外の国際交流協定校（中国・韓国・台湾）の数校と、双方向学位制度を実施しています。

●大学間国際交流協定に基づく交換留学プログラム

大学全体として様々な学問分野で海外の大学・研究所と国際交流協定を締結し、学生の留学（派遣・受入）を行っています。

●海外派遣学生支援事業

海外の大学に派遣される学生で、学業成績、人物ともに優れている者に対して、奨学援助を行っています。



協定校：中国吉林大学

留学生の声

「留学生生活満喫中」

交換留学生として中国吉林大学からやってきました。外国語で外国の法律を勉強するのは大丈夫かなと心配していましたが、先生方はとても丁寧に授業の内容を説明してくださったり、周りの院生たちも積極的に声をかけてくれたり、勉強の手伝いをしてくれたりして、大変助かりましたし、勉強もうまくできるようになりました。また、ほとんどの授業が少人数で行われているため、先生もできるだけ一人一人の学生のニーズに応えるように授業を進めることが何よりの魅力だと思います。図書館や法学部資料室の資料も非常に豊富で、好きな勉強が思う存分できるところです。現在既に母国の弁護士資格を持っていますが、将来中国に進出している日本企業をサポートできるような弁護士として活躍したいと思っています。ここで学んだ知識が役に立つと信じています。

O - NECUS 短期留学制度 孫 治邦（吉林大学）

東アジア国際協力・教育研究センター

東アジア国際協力・教育研究センターは、東アジア及びその近隣地域との教育・学術交流の推進、研究成果の国際発信及び国際学術ネットワークの整備と管理等を目的として設置されたもので、具体的には留学プログラムの構築や運営、留学生や留学希望学生へのサポート、国際シンポジウムの開催等を行っています。

特に学生サポートとしては、留学生への論文添削指導やランゲージパートナーの紹介、国際交流パーティーの開催等を行っています。また留学生や留学希望学生を対象とした個人相談も随時受けつけています。



国際交流パーティーの様子

修了生の就職先（過去3年間）

博士前期課程

【公務員・教員】

岡山県庁／高知県庁／和歌山県庁／岡山市役所／倉敷市役所／玉野市役所／岸和田市役所／岡山県古代吉備文化財センター／鳥取県教育委員会／神戸市教育委員会／岡山商科大学附属高校／岡山理科大学附属高校／就実高校・中学校／東京都立青井高校

【企業等】

岡山県商工会連合会／岡山情報処理センター／山陽新聞社／天満屋／水登社／両備ホールディングス／笠岡市竹喬美術館／三宅孝治税理士事務所／栗坂社会保険労務士事務所／倉敷医療生活協同組合／中国銀行／日本政策金融公庫／杏林会計センター／ソフトバンクモバイル／日本アイ・ビー・エム

博士後期課程

【公務員・教員】

国内：出雲市文化環境部文化財課／八戸工業大学／名古屋経済大学／大阪大学／倉敷市立短期大学
海外：在ポーランド日本国大使館 経済部／上海市民政局／中国人民大学国際学院

【企業等】

国内：MIMOCA 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／立命館大学／衣笠総合研究機構／NTT コミュニケーションズ株式会社
海外：中国弁護士事務所／江蘇省弁護士事務所事務員／民主進歩党中央党部国際事務部



修了生からの メッセージ

様々な現場で

活躍している修了生の声を聞いてみよう！

「岡山大学大学院での五年間」

岩崎 真梨子 さん【八戸工業大学】

博士後期課程 社会文化学専攻 人間社会科学講座 平成24年度修了



大学院では日本語史を専攻し、形容詞性接辞「ばい（子どもっぽい、ギャルっぽいなど）」や「らしい（女らしい、春らしいなど）」の変遷について調査しました。

私は成績優秀な学生ではありませんでしたが、指導教員の先生は、私が自力で研究を進めるのを辛抱強く待ってくださいました。何度もやり直ししながら少

ずつ研究を深めていき、学内外の学会や研究会で発表を重ね、論文を発表しました。また、研究を続けるなかで、尊敬できる多くの仲間に出会えました。

今改めて振り返ると、とにかく周りに恵まれ、全力で生きた5年間でした。私は、幸運にも修了と同時に研究職に就けましたが、これも周りの援助なしには成し得なかったことだと思います。苦しい時間も含めて、本当に充実した日々を過ごせたと感じています。

産官学の輪の中で地域を語り地域を拓こう！

川野 豊 さん【社会福祉法人岡山市社会福祉協議会事務局長】

博士前期課程 公共政策科学専攻 地域公共政策コース 平成23年度修了



私は現在岡山市役所を退職し、岡山市社会福祉協議会で地域福祉の推進に携わっています。岡山市在職中はまちづくり、市民協働などその時々のかつめ的な分野を担当しましたが、右も左も分からず全くの手さぐりでした。

そんな時に岡山大学に地域政策を研究する公共政策コースが創設されました。

これだと思い門をたたき、3年間同じ思いを持つ自治体職員、県会議員、現役学生に加えコース担当の先生方と法律・政治・経済・経営など様々な角度からの議論を重ね、またフィールドワークを行うことにより、多くのヒントを得ることができました。また職場以外の人的なネットワークが構築できました。

今でも3か月おきの研究会や地域アゴラにおいて、現役学生、OBや先生方と議論に参加し、地域公共政策のトレンドに触れることができ大変感謝しています。

MBA を目指す社会人の方へ

橋本 大志 さん【中国銀行】

博士前期課程 組織経営専攻 組織経済学講座 平成23年度修了



MBAを取得したいという目的だけでビジネススクールを目指すことは、社会人の方にはあまりお勧めできません。平日の夜間および土曜の授業が中心とはいえ、宿題や事前準備で睡眠時間は削られ、家族と過ごす時間も大幅に制限されます。また、目的のない中でテーマを見つけ、

修士論文を完成させることは困難を極めるでしょう。

一方で、研究を通じて仕事上の課題を解決したいと考えていた私にとって、ビジネススクールはかけがえのない学びの場になりました。授業や先生達の論文を通して得られる知識、背景を異にする他の学生とのディスカッション、各分野で高度な知識を持った先生方からのアドバイスは、日々の業務では得られない気づきを与えてくれました。

知を求めるビジネスパーソンにとって、大学院で学ぶ2年間は、きっと有意義な時間となることでしょう。

留学体験を活かして母国の大学教員に

楊 華 さん【中央财经大学财政学院・副教授】

博士後期課程 産業社会文化学専攻(社会システム文化論講座) 平成15年度修了



穏やかで純朴な気風、自由で闊達な勉学環境、親切で寛大な先生方、偏見なく優しく接してくれた学生たち等など、岡山大学で過ごした青春時代を思い出すたびに胸が熱くなります。「寛容、親切、善意」は、私が日本留学時代に体験し、身に付けることができた一生の宝物です。

私は最初から明確に教職を目指していたわけではありませんでした。

大学院に入ってから、とにかく興味を持っていた科目をいっぱい履修しました。先生方の講義を聞いていくうちに、どんどんと視野が広がり、自分の関心課題も固まっていきました。そして、研究に打ち込んだ自分がなんとなく落ち着くことを新たに発見することができました。

後輩たちに一言ということであれば、大学院時代の大切な時間を無駄にせず、とにかく向学心をもって知識・見聞を広げ、自分自身を磨き、再発見してください、と述べさせていただきます。

在学生からの メッセージ

日々学びの手応えを実感しています

「知」の可能性を実感

三木 誠 さん【長期履修制度・社会人入学生】

H24年度入学：博士前期課程 社会文化基礎学専攻 哲学・思想文化論講座



宗教思想や死生観に関心があり、もう一度、ちゃんと学びたいと思っていました。岡山大学を選んだのは、アウグスティヌスやパスカルの専門家がいられたから。社会人選考で受験するため哲学・思想史を勉強しましたが、これが、入学後役立ちました。

定年退職後も短時間勤務で働いていたため、長期履修の適用を受けました。

40年ぶりの勉強は楽しく、少人数の授業ばかりで鍛えられました。知識だけでなく、論理の組み立て方や、学問的検証の方法も学べました。精神分析学や政治学などの隣接領域の講義も刺激的でした。

驚いたのは、近代以前の哲学・思想研究でも、40年前の定説が覆ったものがあること。「知」の可能性を思い知りました。最後の1年で、改めて、自分の「知」を革新していけたらと願っています。

研究環境としての最高の場

大賀 宗夫 さん

H25年度入学：博士前期課程 公共政策科学専攻 司法政策講座



私は社会人(司法書士)学生として大学院に在籍させて頂いています。仕事では、法務局、裁判所、弁護士等、様々な人や組織とやり取りする中でときに極めて高度な法的知見が要求されることがあります。しかしながら、私自身は、法学部出身ではなく、学問として法律を学んだこともありませんでした。そのようなこともあり、私自身、スキル向上の必要性を感じていました。

現在、長期履修(3年)で1年間在籍していますが、大学院での授業は少人数のゼミ制、マンツーマンの論文指導等で、当初の想像以上に先生方から密にご指導を頂いています。資格試験対策のように広範な範囲をカバーするのではなく、一定のテーマをじっくりと腰を据えてより深く研究すること、またその研究手法を身につけることができる環境として最高の場であると感じています。

楽しく有意義な研究生活

Cao Thi Quynh Trang さん

H25年度入学：博士前期課程 社会文化基礎学専攻 経済理論・統計講座



岡山大学大学院の魅力は「緑豊かな落ち着いた環境、学生のためなら何でも考えてくださる先生方、自由かつ有意義な研究時間、お互いの研究について議論し、深めあっていく仲間達」だと思います。また、様々な国から来た留学生達との異文化交流も大きな魅力のひとつです。特に、東アジア国際協力・教育研究センターの設立で東アジアとの教育・学術交流

がより深まっています。

個別指導や演習形式の講義には様々な分野の研究仲間が集います。異なる観点から意見を出し合うことで、お互いの研究が深まります。さらに、異分野の仲間から自らの研究経過を発表することで、人にいかに分かりやすく面白く伝えられるかという技術も習得できます。

岡山大学大学院のこの最適な環境の中で、日々研究に向き合う生活が楽しいです。

グローバルな学びの場を堪能

中野 祥子 さん

H25年度入学：博士後期課程 社会文化学専攻 文化共生学講座



異文化に興味がある私は留学生の異文化適応について研究しています。言語パートナーシップ制度を利用して留学生と互いの言語や文化を教え合っています。異文化に触れることで新たな発見や考え方の変化があり、良い刺激になっています。私にとって留学生が多いこの環境は学びの宝庫です！講義は演習形式で実践的な課題をこなしているうちに、方法論や論文読解力、プレゼン力が身に付いてきていることが実感できます。国際学会での発表への支援もあるので、臆することなくチャレンジしています。研究室で教授や仲間と議論を重ね、試行錯誤しながらデータをまとめ、講義を通じて英語での発表要旨の書き方やプレゼンの仕方を学び、練習をするので、自信を持って海外で発表できると思います。世界に通じるスキルをつけてどんどん挑戦していきたいです！

ご挨拶

大学院社会文化科学研究科は改組を経て平成 18 (2006) 年 4 月に設置されました。本研究科は博士前期課程 (2 年制) と博士後期課程 (3 年制) からなる区分制大学院です。本研究科は文学部、法学部及び経済学部を基礎学部としており、人文社会科学系学問分野のほぼ全域を網羅しています。本研究科は「知」の継承・発展及び地域へ「知」の還元を主目的としております。多くの修了生が国内外で活躍しています。

本研究科ではそれぞれの専門分野における研究を深化させると共に、学際性と総合性に配慮しつつ、先端的な研究成果にもとづき大学院教育を行っています。我々は理論的・基盤的な学問内容を充実・深化させつつ、社会との関係性の深い学問の開拓にも努めています。

地域との関係では、前期課程の組織経営専攻 (ビジネススクール) は岡山県及び近隣地域の企業及び組織の人材育成を、そして公共政策科学専攻の地域公共政策コースは地域政策を企画・立案できる人材育成を目指しています。国際交流に積極的に取り組み、欧米やアジア等の諸大学と交流協定を結び、交換留学や教員の学術交流を進めています。平成 22 (2010) 年 4 月には東アジアの諸大学との交流を更に進めるために、附属施設として東アジア国際協力・教育研究センターを開設しました。

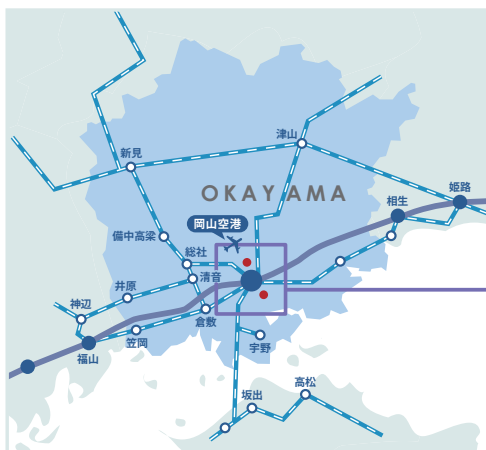
多様な学問分野を擁し、社会貢献と国際交流をはかる本研究科は人文社会科学系分野の Research を志す方、人文社会科学系の学問に興味と関心を寄せる方、更には自らの仕事のために専門的知識の取得やスキルアップを目指す方々の要望に必ず応えることができます。

本研究科を志望される方々、あるいは本研究科に関心を寄せてくださる方々に希望することは次の点です。現在の日本社会が少子高齢化及び地域衰退やグローバル化の進展に直面する中で、人文社会科学系の学問研究や専門的知識・スキルの取得が個人や社会にとって大きな意義を有することは確かです。社会が直面する困難な局面の打開の志を持ち、私どもの研究科と共に学問追求と能力向上への道を歩みませんか。

すべての人に学問は平等です。

大学院社会文化科学研究科長 春名 章二

Access



City Map



岡山空港から

- 岡山空港 2 番のりばから岡電バス・中鉄バス「岡山駅西口」行きに乗り、「岡山駅」で下車、その後は岡山駅前からの各種交通機関を利用願います。

JR「岡山」駅よりバスを利用する場合

- 岡山駅 (西口広場) で岡電バス岡山理科大学線「岡山理科大学行」に乗り、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで 約 2 分
- 岡山駅 (東口) で岡電バス妙善寺線「妙善寺・岡山大学行」に乗り、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで 約 2 分
- 岡山駅 (東口) で岡電バス東山線「津高営業所行」に乗り、バス停「岡山大学筋」で下車し、徒歩で西門まで 約 9 分

※ JR「法界院」駅 (津山線) から上記のバス線には乗車できます。(バス停「法界院駅前」乗車)



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

発行 岡山大学大学院社会文化科学研究科
〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1

お問い合わせ 岡山大学大学院社会文化科学研究科 教務学生担当
TEL: 086 - 251 - 7357・7362
e-mail: ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/>

HP: [岡大 社会文化科学](#)

検索